

第1回墨田区地域自立支援協議会 議事要旨

日時 令和7年6月5日(木) 午後2時00分から午後3時00分まで

場所 すみだリバーサイドホール イベントホール

- 1 開会
- 2 辞退に伴う新たな委員の委嘱、任命及び紹介について 【資料1-1】 【資料1-2】
- 3 墨田区地域自立支援協議会について
(墨田区障害施策の会議体の関係について) 【資料 2】
- 4 各専門部会について
精神部会 【資料3-1】
地域生活支援拠点部会 【資料3-2】
- 5 区からの報告
事業者に対する適切な運営の指導等について 【資料 4】
墨田区基幹相談支援センター相談実績(令和6年度) 【資料5-1】
【資料5-2】
区内グループホームの定員状況について 【資料 6】
墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等について 【資料 7】
令和7年6月現時点での今後の施設建設予定について 【資料 8】
- 6 閉会

【配付資料】

- 【資料1-1】 墨田区地域自立支援協議会委員名簿
- 【資料1-2】 墨田区地域自立支援協議会に関する要綱
- 【資料 2】 墨田区障害施策の会議体関係図
- 【資料3-1】 令和7年度 墨田区地域自立支援協議会精神部会について
- 【資料3-2】 令和7年度 墨田区地域自立支援協議会地域生活支援拠点部会について
- 【資料 4】 事業者に対する適切な運営の指導等について
- 【資料5-1】 墨田区基幹相談支援センター相談実績(令和6年度)
- 【資料5-2】 調整等が難しかったケースの共有
- 【資料 6】 区内グループホームの定員状況について
- 【資料 7】 墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等について
- 【資料 8】 令和7年6月現時点での今後の施設建設予定について
- 【資料 9】 御意見用紙

第1回墨田区地域自立支援協議会 出席者

【委員】

会長 ○副会長

NO	分野	所属	役職	氏名	出欠
1	学識経験者	山梨県立大学人間福祉部	教授	柳田 正明	出席
2	医療	医療法人草思会	理事長	窪田 彰	欠席
3		一般社団法人 訪問看護ステーション協会墨田支部会	会長	椎名美恵子	出席
4	障害者団体の代表・障害者等とその家族・当事者	墨田区障害者団体連合会	会長	○庄司 道子	出席
5		墨田区肢体障害者福祉協会	会長	三宅 裕	出席
6		墨田区視覚障害者福祉協会	副会長	山中 登	出席
7		墨田区聴覚障害者協会		篠木 修子	出席
8		墨田区手をつなぐ親の会	副会長	折笠 春江	出席
9		墨田区肢体不自由児者父母の会	会長	菊池 昌子	出席
10		墨田区精神障害者家族会	会長	三浦 八重子	欠席
11	教育	都立墨東特別支援学校	副校長	吉田 朋之	出席
12		都立墨田特別支援学校	校長	深谷 純一	出席
13	雇用	墨田公共職業安定所 専門援助第二部門	統括職業指導官	川島 美津子	出席
14		すみだ障害者就労支援総合センター 就労移行支援 就労定着支援 ゆめたまごすみだ	管理者	伊東 美奈子	出席
15	障害福祉サービス等事業者	(福)墨田区社会福祉事業団 すみだ福祉保健センター	障害者支援部長	遠藤 稔	出席
16		(株)ラックコーポレーション ヘルスケア事業部	統括部長	前田 輝和	欠席
17		特定非営利活動法人 とらいあんぐる	事務局長	河野 元毅	出席
18		(福)墨田さんさん会	さんさんルーム 管理者	武川 つつみ	出席
19	相談支援事業所	らいふ十人会	所長	青柳 吉季	出席
20		あしたば相談支援		崔 曙哲	欠席
21	民生委員児童委員	墨田区民生委員・児童委員協議会	第二地区会長	齋藤 正樹	欠席
22	社会福祉協議会	墨田区社会福祉協議会	事務局長	前田 恵子	欠席
23	行政(保健所)	墨田区保健所	保健衛生部長	渡瀬 博俊	出席
24	行政	墨田区	福祉部長	浮田 康宏	欠席

1 開会

(事務局) 今回、2名の委員が新たに推薦されていることもあり、まず、事務局で進行させていただく。

最初に、委員の出席状況を報告する。この協議会は24名の委員で構成されており、欠席の連絡をいただいた委員は、4名、まだ、お見えになっていない委員が3名、現在、17名である。

また、本会議は原則公開だが、本日は、傍聴者がいないことを報告する。

なお、議事録作成のために、録音をさせていただくことをご了承願う。

2 辞退に伴う新たな委員の委嘱、任命及び紹介について

(事務局) 次に、墨田区地域自立支援協議会の委員の委嘱及び任命について説明させていただく。今回、教育分野からお二人の新たな委員が推薦された。ご紹介させていただく。

委員自己紹介

続いて、任命であるが行政委員に異動があったので紹介させていただく。

行政委員自己紹介

【資料1-1】墨田区地域自立支援協議会委員名簿及び

【資料1-2】墨田区地域自立支援協議会に関する要綱説明

なお、4月1日付で組織改正があり、要綱には、福祉保健部という記載があるが、現在は、福祉部となっている。改正中のため旧要綱を添付してある。名称等が変わる以外に変更はない。

それではここから、進行を会長にお願いしたい。

3 墨田区地域自立支援協議会について（墨田区障害施策の会議体の関係について）

(会長) 会長自己紹介

それでは、地域自立支援協議会について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 【資料2】墨田区障害施策の会議体関係図について説明

(会長) ただいまの説明で、意見や質問があればお願いします。

(A委員) 墨田区医療的ケア児に関する協議会についてお伺いしたい。行政職員6名の中に保健師はいるか。

(事務局) 委員の構成の中に保健師はいない。

(A委員) 庁内連携会議にも保健師はいないのか。

(事務局) 庁内連携会議は、管理職で構成された会議体であるため、いない。今後、事例検討を行う際は、検討したい。

(A委員) 現在、特別支援学校の医療ケア児のバス送迎は、訪問看護ステーション協会が東京都から受託されている。直接かかわる者も、こういう検討する場にも必要かと思い質問させていただいた。

(会長) 今後、ご指摘の点を踏まえて検討していけたらと思う。他に質問はあるか。[なし] では、進めさせていただく。

4 各専門部会について 精神部会 地域生活支援拠点部会

(会長) 3の各専門部会について、精神部会、続いて地域生活支援拠点部会についてご説明いただく。

(B委員) 精神部会の部会長をさせていただいている。

精神部会は、令和6年度に置かれた。精神障害者特有の課題解決に向けて、意見をまとめ、協議会上げるために執り行っていきたいと考えている。

医療、障害者の家族会、サービス事業所、計画相談支援の事業所、指定一般の相談支援事業所、地域移行の広域アドバイザーや行政の委員体制になっている。

7月11日に部会を開催予定である。精神障害に対応した地域の包括ケアシステムの構築に向けた地域の課題、地域移行の医療機関と地域の関係者の連携について話し合う予定になっている。第2回については来年1月か2月に地域活動センター型と自立生活体験事業について、加えて事例検討をしたいと思っている。精神部会からは、以上である。

(C委員) それでは地域生活支援拠点部会について説明する。資料の3-2をご覧ください。この部会については、趣旨1のとおりであるが、地域の実情に応じた整備を念頭に地域全体を支えるサービス提供体制の構築を検討している。今回、本協議会に報告するということになる。

今年度まだこれからということになるが、ご覧の2のメンバーで3月まで、4にある地域生活支援拠点等の面的整備、登録制度を大きな案件として検討していく予定である。

(会長) 今の各部会からの説明に対して、何かご質問等はあるか。[なし]

それでは、今年度は、2つの専門部会で協議を行うことで進めさせていただきます。

区からの報告

事業者に対する適切な運営の指導等について

(会長) それでは次に進めさせていただきます。次第の5、区からの報告 事業者に対する適切な運営の指導等について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 【資料4】事業者に対する適切な運営の指導等について説明

墨田区基幹相談支援センター相談実績(令和6年度)

(会長) 続いて、墨田区基幹相談支援センター相談実績令和6年度について。

(事務局) 【資料5-1】墨田区基幹相談支援センター相談実績(令和6年度)について説明

【資料5-2】本センターで受けた事例で調整が難しかったケースA・Bについての説明

(会長) 皆様に協議していただき、活用できる社会資源や経験などケース支援に役立てるとともに、その情報を共有していただきたい。

— 事例検討のため未記載 —

区内グループホームの定員状況について

(会長) 次に区内グループホームの定員状況について説明いただく。

(事務局) 【資料6】区内グループホームの定員状況について説明

(会長) 前回のご指摘があった内容についての定員の数である。これについてご

確認、ご質問はあるか。

- (F委員) 表の中に障害種別がないので知りたい。
- (事務局) 1から20番までのグループホームが知的障害、22が身体障害、それ以外は、精神障害と知的障害の両方である。なお、15・16・17については男性のみが対象となっている。
- (会長) 今の回答でよろしいか。
- (F委員) よい。
- (会長) できれば次の機会には、各施設の男女で定員が決まっているなどはわからないか。
- (事務局) あまり男女比率は聞かないが。資料の中では、20番のホームきらきら星については女性の定員数が決まっている。フロアで男女を分けるため決まっていると思われる。
- (会長) 他に質問はあるか
- (G委員) 親の高齢化に伴いグループホームに入りたいが空きがないという相談がたくさん来る。最近、ある方がグループホームに入ったのだが、結局、栃木県であった。区内に何か所かあるグループホームは定員が一杯だと認識している。地方は空きがあるので勧められ、親は自分の体も大変になり、子どもを看れず、泣く泣くグループホームにお願いするという形が多い。とりあえずグループホームの定員が一杯なのか教えてほしい。
- (事務局) 区内のグループホームについては、空きがない状況である。ちなみに3月の給付ベースの実績では、279件となっている。区内の定員合計は166名であり、その差については、近隣のグループホームに入所していると考えられる。
- (会長) ほかにご質問はあるか。
- (E委員) グループホームの空きがないと聞いた。先ほどのケースA・Bでも短期入所やレスパイトが出てきた。人工呼吸器をつけている方を預かってくれる施設は限られている。府中療育センター、北療育センター、東部療育センターは、4月以降、新規は受け付けない。介護職員の減少により、半分は、5月で断られている。そういう現状なので、本当に入所できる人がいない。新しい人が入れない。ショートステイも入れない。会長と一緒に昔からお願いしている。国は新しい施設を作らないという話はあるが、東京都は、各区に一つは入所施設を作ってもいいと言っている。墨田区には入所施設はない。東京都でないのは2区だけでその一つが墨田区である。ぜひ、複合で知的障害、身体の重度の人も入れる入所施設を、10年計画でもいいので作って欲しい、よろしく願いしたい。
- (会長) 今日の会議では、ご要望という形でしかお伺いできないが、そういう意見も議論しているかということ、行政に言わないと始まっていかない。これは引き続き言う必要があるし、この現状を前回の委員会で出てきた定員数の状況や数字だけでなく先ほどのようなケース、対応自体に困るということを確認し、少しでも現状で何かできるのか探ることを併せてやっていくこととなる。

墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等について

- (会長) 続いては、資料7について事務局からの説明をお願いしたい。
- (事務局) 【資料7】 墨田区障害福祉総合計画に係るニーズ調査等について説明
- (会長) ご質問、ご意見はあるか、次の計画に向けて重要な調査である。施策推

進協議会で主にやることかと思うが、いままでの調査結果があり、それを継続的に横に見るようなことも重要であるが、医療的ケア児も含め、新たに着目され、重要だと認識されてきたことの調査がしっかり入っているか、把握できるかということなど、お気づきの点があれば、今日この場でなくてもよいのでニーズをお伝えいただきたい。

私が見たところ、強度行動障害の緊急度が上がってきている。その実態や医療的ケア児、その把握の仕方が十分かどうかのご意見は必要かと思う。

(H委員) 前回の調査の項目を比較するとほぼ同じかと感じる。

着任し、相談支援のニーズに対して事業所の数が、もう少し欲しいという話を耳にする。セルフプランで対応している高校3年生も多いと聞いている。先ほどのケースBもそうだが、学齢期から相談支援がしっかり入っていると、成人期のつなぎの時にケースの引継ぎがスムーズにいくと感じる。調査の中で、相談支援がどのくらい関わっているか、墨田区の障害計画をみた。現在の実績があったが、ベースになる相談支援の件数が少ない中で、その件数をベースに見込みを立てている。それでは足りないと思う。それが視覚として見える調査結果であればよいと感じた。

令和7年6月現時点での今後の施設建設予定について

(会長) 次に資料8の説明をお願いします。

(事務局) 【資料8】 令和7年6月現時点での今後の施設建設予定について説明

(会長) ご質問はあるか [なし]

6 閉会

(会長) 次に資料9御意見用紙の説明をお願いします。

(事務局) この場でご質問できず伝えておきたかったことなど、この用紙にご記入いただき6月30日(月)までにメールやFAXでご提出いただければと思う。また、そのご意見の中から次回の協議会の案件となるもの、また部会から上げていただいたものも検討事案とし開催してまいりたい。是非、御意見用紙の提出をよろしく願いたい。

(会長) 本日、時間の制約もあることから御意見用紙をご記入いただきご指摘いただけたらありがたい。まだ数分あるので、この場で確認したいという委員がおられたらご発言をお願いしたい。[なし] 御意見用紙を活用していただきたい。

それでは、私からお話ししたい。23区の某区では、通所移転の仮住まいに小学校を活用しており、仕事で見学に行った。学校は、思いのほか広く使いやすいと話の中で出た。特に強度障害の方だとある程度スペースがないと支援が厳しい。そういう方向性もある。墨田区の小学校の状況を把握はしていないが、数日前に経験したのでお伝えした。それでは、会を閉める前に副会長にもご発言をお願いしたい。

(副会長) 個人的にはもっとお聞きしたいことがあるが、御意見用紙に記入して提出したいと思う。皆さんにもご提出をお願いしたい。

(会長) それでは、第1回の墨田区自立支援協議会は、閉会とする。